

公民館訪問NEWS

只見町中央公民館 ～ライフプランノート作成講座～

10月26日(木)、只見町中央公民館で行った講座「ライフプランノート作成講座」を訪問しました。

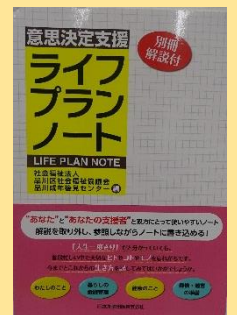
今回の講座は、2段階に分かれているのが特徴です。1日目に、ライフプランノート作成のサポーターになる人材の育成として、民生委員の方の研修講座を行い、2日目に、一般町民を対象に実際に作成を体験してもらうという内容です。

また、朝日公民館をメイン会場にして、3地区の公民館をオンラインでつなぐことで、どの公民館に行っても参加することができるようになっていました。ターゲットである高齢者が参加しやすい環境です。

現在、亡くなる方の9割は病院や施設であり、自分の意思を親族に伝えることに課題があるそうです。公民館講座を通して、住民一人一人が共に寄り添い、共に支え合いながら生きていく「支え合いの社会」を構築していきたいとお話されていました。

<ライフプランノートとは>

人生設計として、老後への備えとして、これまでの自分の生き方、これからの希望、いざという時にどのような支援を望むのかについて、これから支援を任せたい人と一緒に記録していきます。今回の講座では、東京都品川区社会福祉協議会品川成年後見センターで作成されたノートが使われました。



<受講者の方から>

こういう素晴らしいノートがあるということは、以前から知っていました。町で取り組んでいただきよかったです。今後は、町民に広げていきたいと思います。



<受講者の方から>

年齢的にも関心があり参加しました。ノートの内容や書き方について分かりやすく教えていただき、自分の生き方に対する自覚が改めて出てきました。

<受講者の方から>

自分の最期のことについて話ができ少し安心しました。町でこのような取組が始まり、明るい終活が見えてきました。今後も将来の生活につながる講座の実施に期待しています。



今回の講座は、町の保健福祉部局と連携して実施されました。計画や講師依頼などは保健福祉部局が行い、公民館では運営や会場設営を行います。また、両部局で広報等を行います。只見町では「地域福祉」「地域防災」「地域づくり」「生涯学習」という4つの柱を重点として公民館事業を進めているそうです。町の関係機関と連携を図ることで、町の重点施策と関連付け、充実した講座を行っています。住民ニーズに応えることはもちろんですが、町の課題から必要な学びを提供するということが大切だと感じました。